

時の宙づり — 生と死のあわいで



SUSPENDING TIME

Life — Photography — Death



日本初公開となる貴重なコレクションから
“時を宙づり”にする写真の本質に迫る

2010年4月3日(土) — 8月20日(金)

ゲスト・キュレーター：ジェフリー・パッチェン (写真史家)

開館時間：10:00—18:00 *ご入館は、閉館の30分前まで

休館日：水曜日(祝日の場合は翌日休)

入館料：大人800(700)円、高・大学生400(300)円、小・中学生無料 * ()内は、20名様以上の団体料金

主催：IZU PHOTO MUSEUM

静岡県長泉町東野クレマチスの丘(スルガ平)347-1 Tel. 055-989-8780 Fax. 055-989-8783 www.izuphoto-museum.jp

IZU PHOTO MUSEUM

報道関係各位

この度 IZU PHOTO MUSEUM では、4月3日（土）より国際的に注目を集める写真史家、ジェフリー・バッチェンによって企画された「時の宙づり—生と死のあわいで」展を開催いたします。本展は写真の歴史の中でしばしば見過ごされてきた、日常的な写真にスポットライトを当てるものであり、そのような“忘れられた写真”の意義を考察する日本で初めての本格的な展覧会となります。

とりわけ焦点となるのは、写真が過去と現在とが絡まり合^{から}った複雑な時間の中へと被写体を投げ込み、生と死の間で宙づりにする能力です。無名の職人や家族の手によって作られたそれらの写真の多くは、調度品や装身具として日常的に触れられたり、家庭の中で亡き人を偲^{しの}ぶよすがとなりました。遺^{のこ}された写真にさまざまに手を加えることで、そこに特別なまなざしを注いできた人々の思いを垣間見ることができます。美術館や学問の領域にではなく、家庭や人々の心の中に存在していた写真の展示は、これまでの美術館や写真史というものが何であったかという問いをも含んだものになるでしょう。デジタル写真とは異なる、モノとしての存在感を強く発するヴァナキュラー（ある土地に固有）写真の魅力をご堪能下さい。

欧米のダゲレオタイプ（銀板写真）、写真付きアクセサリー、メキシコの写真彫刻、日本の湿板写真、アルバムのスナップ写真など日本初公開の計300点以上を展示予定。

日本初公開の貴重なコレクションとなりますので、この機会に是非貴媒体にて本展をご紹介しますよう、よろしくお願い申し上げます。



制作者不明 (アメリカ)、「造花のリースに縁取られた若い女性の肖像」1890 年頃、ジェフリー・バッチェン氏蔵

「AT REST(安らかに)」という言葉とともに
ろう ちょう
蠟の造花と蝶が写真の周りに飾られている。
それらは写真の女性の“新たな生”を象徴している。



制作者不明 (アメリカ)、「ダゲレオタイプのケースを手にしている少女と少年 (ダゲレオタイプ)」1855 年頃、ジェフリー・バッチェン氏蔵

姉弟と思われる 2 人が写ったダゲレオタイプ (銀板写真)。よく見ると彼らも写真のケースを手に触れながら写っている。この持ち主は、写真に触れた子どもたちの写真を彼らと同じように手に取って眺めていたのだろう。このような写真は視覚と触覚を同時に刺激する。



制作者不明 (アメリカ)、「ペーパーウェイトに収められた少女の肖像」1910 年頃、IZU PHOTO MUSEUM 蔵

写真がはめ込まれた透明なペーパーウェイトには少女のものと思われる髪の毛が、ハート型に編まれている。19 世紀のアメリカでは装飾用の髪の毛は主に女性の手で編まれたという。



制作者不明（メキシコ）、「バラの花をつけた女性の肖像（写真彫刻）」1940年代頃、チャールズ・シュワルツ氏蔵

メキシコのフォトエスクルトゥーラ（＝写真彫刻）。木彫りの胸像と写真の顔が組み合わされ、平面の写真に奇妙なリアリティを付与している。1920年代から80年代初頭にかけてメキシコの職人たちの手で制作された。



ローム&モンゴメリ（ミシガン州、イートン・ラピッズ）
「リボン、花瓶、写真のある献花（鶏卵紙）」1890年頃、
ジェフリー・バッチェン氏蔵

亡くなった人たちのために制作された追悼のキャビネット・カード。葬儀で用いられた様々な献花を組み合わせで作った静物の写真は葬儀の参列者たちや、式には出席できなかった人たちに贈られた。



制作者不明（日本）、「2振の刀を持った兵士（湿板写真）」
1868年頃、チャールズ・シュワルツ氏蔵

桐箱に入れられたアンブロタイプ（湿板写真）。幕末から明治期にかけて明日をもしれぬ命とカメラの前に立ったのは、主に士族階級出身者たちであった。断髪前の記念として自らの丁髷姿を残したものも多かったという。



制作者不明、「抱き合うカップルと撮影者の影(銀塩写真)」
1960 年頃、ジェフリー・バッチェン氏蔵

アルバムに貼付けられていたであろうスナップ写真には、撮影者の影が写り込んでいることがある。影は写真の内と外、過去と現在を結びつけ、今この写真を見ている私たちが、まるで被写体と向き合っているような気持ちにさせる。



制作者不明 (アメリカ)、「銀のロケットに収められた男性の肖像」1860 年頃、IZU PHOTO MUSEUM 蔵

髪の毛とクローバーの葉が写真入りロケットと組み合わされている。身につけているうちに肌のぬくもりが伝わり、持ち主の身体の一部のようになっていく。



制作者不明、「夫婦の肖像 (ダゲレオタイプ)」1850 年頃、IZU PHOTO MUSEUM 蔵

腕を組んだ夫婦の姿。婦人のものと思われる髪の毛の一房が、写真と触れ合うようにケースの中に配置されている。繊細なダゲレオタイプは、ベルベットの布や皮で作られたケースの中に貴金属のように収められている。銀板に焼き付けられたイメージは見る角度によってポジ像にもネガ像にもなる幽霊のような存在である。

【ゲスト・キュレーター略歴】

ジェフリー・バッチェン (Geoffrey Batchen)

写真史家。ニューヨーク市立大学教授。

氏が企画した「Forget Me Not: Photography and Remembrance」展は2004年のファン・ゴッホ美術館（アムステルダム）を皮切りに世界各地を巡回。編著に「Burning with Desire: The Conception of Photography」(The MIT Press, 1997)、「Each Wild Idea: Writing, Photography, History」(The MIT Press, 2001)、「William Henry Fox Talbot」(Phaidon, 2008)、「Photography Degree Zero: Reflections on Roland Barthes's Camera Lucida」(The MIT Press, 2009) など他。代表作である「Burning with Desire」は、青弓社より2010年春『写真のアルケオロジー』（前川修／佐藤守弘／岩城覚久訳）として刊行予定。

【展覧会カタログ】

『時の宙づり—生・写真・死（仮）』（2010年4月上旬刊行予定）

和・英バイリンガル

テキスト：ジェフリー・バッチェン／甲斐義明／小原真史

ブックデザイン：林琢真

予価：3,360円（税込）／IZU PHOTO MUSEUM 発行、NOHARA 発売

展覧会概要

展覧会名：時の宙づり—生と死のあいだ

(英語名)：SUSPENDING TIME

Life—Photography—Death

会期：2010年4月3日(土)—8月20日(金)

開館時間：10:00–18:00

休館日：毎週水曜日(祝日の場合は翌日休)

展覧会場：IZU PHOTO MUSEUM

〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町クレマチスの丘 347-1

TEL 055-989-8780

【展覧会関連企画】

トークイベント「ヴァナキュラー写真とは何か？」

ジェフリー・バッチェン(ニューヨーク市立大学教授) ×

佐藤守弘(京都精華大学准教授) × 前川修(神戸大学准教授)

通訳：木幡和枝(東京芸術大学教授)

日時：4月3日(土) 14:30~16:30(予定)

会場：駿河小山講堂(IZU PHOTO MUSEUM より徒歩3分)

参加方法：お電話にてご予約ください。TEL 055-989-8780

料金：展覧会入場料に含まれます。

(当日、入館チケットのお求めが必要になります。)

*トーク終了後、お帰りの「三島駅」行(17:00) 臨時無料シャトルバスをご利用の方は、参加お申し込みの際にご予約下さい。また、トークイベント当日は、通常便に加え臨時無料シャトルバス、「三島駅」発「クレマチスの丘」行(12:40)が運行いたします。

*関連イベントの詳細については当館ホームページをご覧ください。

(ホームページ：www.izuphoto-museum.jp)

美術館情報

IZU PHOTO MUSEUM

〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町クレマチスの丘 347-1

TEL 055-989-8780 / FAX 055-989-8783

www.izuphoto-museum.jp

開館時間：10:00–18:00

休館日：毎週水曜日（祝日の場合は営業、その翌日休）、年末年始

入館料：大人 800 円（700 円）、高・大学生 400 円（300 円）、

小中学生／無料 ※（ ）内は 20 名様以上割引

電車でのアクセス：

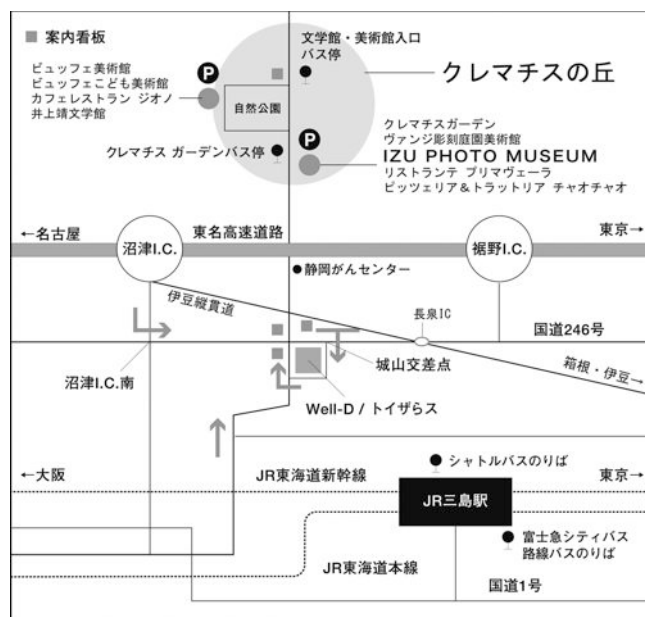
品川駅～三島駅、新幹線「ひかり」利用で 37 分。

JR「三島」駅北口より無料シャトルバス乗車約 20 分。

お車でのアクセス：

東京方面より—東名裾野 I.C. より R246 経由、沼津方面へ 10km。

名古屋方面より—東名沼津 I.C. より R246 経由、御殿場方向へ 5km。



画像送付申込書

下記4点の作品について画像資料（デジタルデータのみ）をご用意しております。ご希望の場合は、下に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。*必要とされる画像資料にチェックを入れてください。



a)



b)



c)



d)

- ☐ a) L. F. クレイマー（カンザス州チェリーヴェイル）「額に入った女性の肖像写真にかかった覆いを外す、白いドレスを着た女性」1890年頃
- ☐ b) 制作者不明（アメリカ）、「造花のリースに縁取られた若い女性の肖像」1890年頃
- ☐ c) 制作者不明（アメリカ）、「ペーパーウェイトに収められた少女の肖像」1910年頃
- ☐ d) 制作者不明（アメリカ）、「銀のロケットに収められた男性の肖像」1860年頃

■貴媒体名 _____

■掲載号 _____ ■発売日／放映日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

■貴社名 _____ ■ご担当者様 _____

■TEL _____ ■FAX _____

■E-MAIL _____ @ _____

■ご住所 〒 _____

■資料お届け期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日までにご希望

FAX. 055-989-8783

IZU PHOTO MUSEUM「時の宙づり—生と死のあわいで」展 広報担当宛

〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町クレマチスの丘 347-1 TEL 055-989-8780